

湘南メディケアグループ

2018 年度事業方針

医療法人救友会理事会

理事長	山本 五十年
監事	猪口 貞樹 (東海大学医学部救命救急医学 教授)
理事	鈴木 紳一郎 (藤沢湘南台病院 総病院長)
理事	岸部 宏一 (横浜医療法務事務所 代表)
参与	戸崎 剛 (エアウォーター防災事業戦略部長)
参与	出縄 高昭 (湘南減災科学研究所 所長)

湘南メディケアグループ 運営連絡会議

代表	医療法人救友会理事長	山本 五十年
副代表	株式会社メディトピア湘南社長	山本 仙子
管理部長	株式会社メディトピア湘南専務	西 仙浩
	湘南真田クリニック 副院長	中丸 真志
	湘南真田クリニック 副院長	春成 伸之
	訪問看護課 課長	白土 玲子
	訪問介護課 課長	渡辺 多恵子
	デイサービス課 課長	青木 健二
	湘南メディケアガーデン所長	川島 潤
	SMC 居宅介護支援事業所さなだ 所長	市野 敏也

湘南メディケアグループ (SMC) 運営連絡会議定例会議および医療法人救友会 2018 年度理事会・社員総会が 2018 年 6 月に開催され、2018 年度の事業方針を全会一致で決定しました。以下、事業報告および事業方針 (概要) を掲載いたします。

I. 2017 年度までの事業報告

- 1) 湘南メディケア真土センターの開設：2015 年度
- 2) 会計の見える化：財務管理システムの確立
- 3) 新給与体系・人事考課の導入・強化
- 4) SMC ルール (業務分掌、職務権限) の確立
- 5) 内部監査の確立

- 6) 個人情報管理システムの確立
 - ・個人情報管理規程の策定
 - ・全職員を対象とした研修会の開催
- 7) 医療法人倫理委員会および設置規程の策定
- 8) 危機管理・リスクマネジメントの整備
 - ・安全管理委員会の運用（2回/月）
 - ・ヒヤリハット/アクシデントレポートの運用
- 9) 福利厚生事業の推進
 - ・職員の健康管理システムの充実
 - ・退職金制度を整備
- 10) 湘南メディケア経営運営体制の確立
 - ・SMC 運営規則、作業部会細則の策定
 - ・SMC 経営委員会の運用：1回/2ヶ月
 - ・SMC 運営連絡会議、安全管理委員会の運用：2回/1ヶ月
 - ・教育研究作業部会、業務改善作業部会、食の作業部会の推進
- 11) 教育研修の推進
 - ・教育研究作業部会主催の研修会
 - ・SMC 救命講習（2017年度：参加職員62名）
 - ・SMC 災害マニュアルの作成
 - ・SMC サンクスカードの運用
 - ・SMC 研究発表会
 - ・外部研修への参加
- 12) 学術研究活動の推進
 - ・日本救急医学会総会、日本内科学会総会、日本循環器学会総会、日本形成外科学会総会、日本熱傷学会総会、日本プライマリケア連合学会総会、日本臨床救急医学会総会、日本在宅医学会総会への参加・口演
 - ・JPTEC（Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care）コース、ABLS（advanced burn life support）コース、PBEC(Prehospital Burn Evaluation and Care) コースをインストラクターとして指導
- 13) 臨床研修医教育への貢献
 - ・平塚市民病院研修管理委員、海老名総合病院臨床研修管理委員の委嘱
 - ・臨床研修医教育への協力
- 14) 東海大学医学部学生教育および看護学生教育への協力
 - ・東海大学医学部学生講義：東海大学医学部客員准教授（山本理事長）
 - ・厚木看護専門学校の学生実習教育

- 15) 大学医学部付属病院への診療協力
- 東海大学医学部付属病院非常勤職員（春成医師）
 - 横浜市立大学医学部付属病院非常勤職員（春成医師）
- 16) 災害医療協力
- DMAT 参画（春成医師）
 - 災害マニュアルの作成（2017 年度；教育研究作業部会）
- 17) 神奈川県医師会・平塚市医師会への協力
- 山本医師・中丸医師・春成医師の医師会入会
 - 山本医師・中丸医師：内科部会・小児部会所属、春成医師：外科部会所属
- 18) 神奈川県・湘南地区の救急医療への協力
- 神奈川県メディカルコントロール協議会検討部会長 2015 年度まで
 - 湘南地区メディカルコントロール協議会検討部会顧問（山本理事長）
 - 平塚市休日夜間急患センターへの協力（山本医師・中丸医師・春成医師）
 - 平塚市民病院、平塚共済病院、済生会湘南平塚病院、東海大学病院、伊勢原協同病院、東海大学大磯病院、秦野赤十字病院、国立病院機構神奈川病院、厚木市立病院、東名厚木病院等との救急医療連携
 - 退院時共同指導への参加を通じた急性期病院との連携
 - 秦野赤十字病院職員、伊勢原協同病院職員、東海大学医学部付属病院職員等を対象とした講師派遣・研修連携
- 19) 多職種連携の推進
- ひらつか地域介護システム会議の推進協力
 - サービス提供担当者会議の開催・参画
 - 介護・医療連携推進会議の開催
 - 平塚市社会福祉協議会との協議
 - 平塚市人材育成研修会への参加（2017年度：職員9名参加）
 - 横浜中区主催 平成 28 年度在宅におけるチーム医療を担う人材育成講演
 - 各種研修会等への参画、各種講演の実施
- 20) 幼稚園・保育園への協力
- 真田幼稚園、金目保育園の園医に就任（山本理事長）
 - 真田幼稚園、金目保育園の園児および職員の健診
- 21) 病院研修への参画
- 平塚市民病院小児科への自主研修（中丸医師）
 - 東海大学病院緩和ケア研修会（2016年度・2017年度）
- 22) 各病院との連携・交流
- 協力医療機関としての指定（平塚市民病院、平塚共済病院、伊勢原協同病院、秦野日赤病院）

- 医療法人鉄蕉会との交流（2015年度～）
 - 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンスとの交流（2015年度～）
 - 伊勢原協同病院の病診交流談話会への参加
- 23) 湘南メディケア友の会との協働
- 拠出基金の全面返還（2017年度）
 - 基金拠出に対する感謝状発行、感謝状のガラス板の作成・公表（2017年度）
 - 湘南メディケア友の会総会の開催協力（2016年度まで）
 - 通信紙の発刊（2016年度まで）
 - 市民講演会の開催協力（2016年度まで）
- 24) 湘南メディケアグループ設立 10 周年記念プロジェクト準備
- 著書発刊の準備（幻冬舎との協働）
 - 新規プロジェクトの準備
- 25) 新規プロジェクト・プランの作成
- 「地域包括ケアシステム構築の連携へ向けた提案」の作成（10名連名）
- 26) 各事業所の実績（2017年度）
- ①湘南真田クリニック
- 診療体制
 - 山本院長
 - 中丸副院長（2015年7月赴任）
 - 春成副院長（2017年7月赴任）
 - 辻 医師（非常勤：2015年7月赴任）
 - 相川医師（非常勤：2016年12月赴任）
 - 外来診療の展開
 - 2017年度総外来患者数：13,495件
 - インフルエンザ対応のプロジェクト強化
 - 形成外科対応の準備
 - 骨密度測定機の導入
 - 在宅訪問診療の展開
 - 2017年度 総訪問件数：5,612件
 - 2017年度看取り件数 71件
 - 平塚市・伊勢原市・秦野市・厚木市・大磯町・中井町への訪問診療展開
 - 職員体制の強化
 - 常勤医師；3名、非常勤医師：2名
 - 看護師 4名（常勤1名、非常勤3名）
 - 在宅連携室 4名（常勤2名、非常勤2名）
 - 医事・受付職員：株式会社メディトピア湘南に委託

②SMC 訪問看護ステーションさなだ

- 経営基盤の強化と運営実績
2017年度 延べ利用者数：869人＋定期巡回・随時対応 149人
- 職員体制の強化（常勤8人、非常勤3人）、看護内容の質の向上、教育研修
- 介護スタッフの指導、吸引等の処置拡大指導者の養成研修
- ひらつか地域介護システム会議の推進
- 研究課題の遂行
no lift 看護介護の実践と検証
ラクチュロースの効果に関する看護研究

③SMC 訪問介護ステーションさなだ

SMC 定期巡回・随時対応型ケアステーションひらつか

- 経営基盤の強化と運営実績
2017年度 延べ利用者数：307人＋定期巡回・随時対応 169人
- 訪問介護内容の質の向上、教育研修
- 定期巡回・随時対応型介護看護事業の推進
介護・医療連携推進会議の強化
- ひらつか地域介護システム会議の推進
- 研究課題の遂行：吸引等の処置拡大に関する検討

④SMC 居宅介護支援事業所さなだ

- 2017年度延べ利用者数：1,114人
- 事業体制の強化：所長を含め常勤4名体制
- 質の高いケアマネジメントの推進
- 医療機関との連携強化

⑤地域密着型 通所介護湘南メディケアガーデン

デイサービスごしき

- 通所介護：2017年度 総利用者件数：12,154件
- 湘南メディケアガーデンの持続的展開（地域密着型）2017年度：3,393件
- デイサービスセンターごしきの定着 2017年度：8,161件
- 多様なプログラムによる個別介護の質の充実

⑥メディカルホーム メディトピア真田

- SMC 多職種協働の推進
- 稼働率向上への努力 2017年度：2階 93.1% 3階 75.7%
- 急性期病院、居宅介護支援事業所等との連携
- 医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしの追求
- 様々な行事の実現の努力
- インターネット活用による広告

27) 安定した事務サービスの提供

- ・「おもてなし」対応
- ・季節的变化に対応する事務部門の整備
- ・事務部門の効率的強化

II. 講演・講義・論文等（2017年度まで）

2014年

- 7月：山本五十年：第71回長野県農村医学会総会 特別講演. 日農医誌 63 (5)：805-833、2015.
- 8月：山本五十年：花と夕陽ねっと記念講演会（西伊豆町）
山本五十年：講義 減圧症の診断と治療（西伊豆病院）
- 8月：山本五十年：藤沢市介護保険事業所連絡会研修会
- 9月：山本五十年：第22回群馬県救急医療懇談会パネルディスカッション
山本五十年：「救急医学」9月特集号 座談会（へるす出版）
- 10月：山本五十年：第8回九州在宅医療推進フォーラム特別シンポジウム（鹿児島）
- 11月：山本五十年：厚生労働省研究班会議

2015年

- 1月：山本五十年：特別講演 地域包括ケア時代のメディカルコントロール協議会のあり方. 平成26年度第2回全国メディカルコントロール協議会連絡会,相模原.
- 1月：山本五十年：厚生労働省：都道府県MC指導医育成に対する研修会.
- 2月：山本五十年：厚生労働省：病院前医療体制における指導医等研修ワークショップ.
- 2月：山本五十年：第65回日本救急医学会関東地方会学術総会シンポジウム.
- 3月：山本五十年：厚生労働科学研究事業報告書発刊.
- 3月：山本五十年：救急と在宅医療をつなぐ. 在宅医療・多職種連携, スーパー総合医.
- 3月：山本五十年：救急医療と介護の連携救急. 在宅医療・多職種連携, スーパー総合医.
- 3月：山本五十年：病院と在宅医療・介護の連携. 在宅医療推進研修会、平塚保健福祉事務所.

- 3月：渡辺多恵子；どうすれば良い？ヘルパーの吸引資格～現実とのギャップを克服するには、在宅ケアスタッフのための医療機器研究会、平塚共済病院。
- 6月：山本五十年：座長,東海大学病院急性期病院と在宅医療現場の連携・退院支援研修会,東海大学医学部。
- 6月:山本五十年：座長：これから必要な救急医療と在宅医療の連携。日本臨床救急医学会総会ワークショップ。
- 6月：山本五十年：日本エンドオブライフケア協会設立記念シンポジウム 講演.東京。
- 8月：山本五十年：特別講演、鹿児島臨床救急研究会、鹿児島。
- 9月：山本五十年：特別講演、秦野赤十字病院研修会、秦野。
- 10月：山本五十年:松本市医師会生涯教育講座 特別講演。
- 10月：山本五十年:伊勢原協同病院研修会 特別講演。
- 11月：山本五十年：座長。日本職業・災害医学会特別講演、東京。
- 11月：山本五十年；講演 県央地域における救急医療の現状。医意会。
- 12月：山本五十年：特別講演 地域包括ケアにおける救急医療と在宅医療のあり方、沖縄県医師会医学会総会、那覇。

2016年

- 1月：山本五十年：特別講演、御津医師会在宅研修会（岡山市）。
- 6月：山本五十年：特別講演、宇治徳洲会病院救急医療講演会、宇治。
- 8月；山本五十年:日本はどこにむかっているのか～地域・在宅医療の現場から、東海大学地域連携講座、秦野市（小田急線東海大学前）。
- 9月：山本五十年：出雲地区救急業務協議会講演会、出雲市。
- 12月：山本五十年：講演、平成28年度在宅におけるチーム医療を担う人材育成研修会,横浜市中区。

2017年

- 1月：山本五十年:救急救命士業務実地修練、テーマ：高齢者医療、ワークショップ、日本救急医療財団。東京。
- 1月：山本五十年:第25回救急隊員シンポジウム。地域包括ケアシステムにおける消防機関の位置づけ。パネルディスカッション4「救急需要対策」、神戸市。
- 2月：山本五十年：厚生労働科学研究班会議、東京。
- 3月：白土 玲子：シンポジウム：終末期の食支援。神奈川県摂食嚥下リハビリテーション研究会一第20回記念大会。

- 8月：春成伸之：熱傷局所療法における感染対策 -上皮化促進と抗菌作用との葛藤。日本外科感染症学会雑誌 14：273-280, 2017.
- 9月：山本五十年：医師がお家にやってくる。地域包括支援センター市民講演, 真田.
- 10月：春成伸之:熱傷、湘央学園講義。
- 10月：山本五十年：地域包括ケア時代の救急医療の在り方～救急医＝在宅医の立場から。日本救急看護学会交流集会シンポジウム、金沢.
- 10月：辻 友篤：いま、救急ナースがすべきトリアージ～救急医の立場から。日本救急看護学会交流集会シンポジウム、金沢.
- 10月：山本五十年：医師がお家にやってくる。地域包括支援センター市民講演, 吉沢.
- 10月：春成伸之, 他：同種皮膚移植に依存しない広範囲熱傷の治療戦略. 第45回日本救急医学会総会・学術集会. 2017年10月. 大阪.
- 10月～11月 春成伸之：熱傷. 学校法人湘央学園 救急救命学科. 2017年10月31日, 11月7日, 11月14日.
- 11月：山本五十年:講演、地域包括ケア時代の地域医療と在宅医療の行方. 八鹿市医師会, 公立豊岡病院、豊岡市.
- 11月：春成伸之：PBEC(Prehospital Burn Evaluation and Care)コース. 2017年11月26日. 東京.
- 12月：春成伸之：PBEC(Prehospital Burn Evaluation and Care)コース. 2017年12月17日. 山形.

2018年

- 1月：山本五十年：テーマ：高齢者医療、救急救命士業務実地修練ワークショップ、日本救急医療財団、東京都.
- 2月：山本五十年:特別講演：地域包括ケアシステムと住民、医療/福祉/介護を育む住民の活動 IN 伊勢原、主催：千津北倶楽部お達者(健康講座) 後援：伊勢原市・伊勢原市医師会等、伊勢原市.
- 2月：山本五十年：地域包括ケアにおける救急医療と在宅医療のあり方。愛媛県在宅講演会, 松山市.
- 2月 春成伸之：2 学会合同シンポジウム「同時多数熱傷患者の診療戦略」. 横浜市の熱傷多数傷病者事案の経験から得た課題をもとにした熱傷災害対策への展望. 第23回日本集団災害医学会総会・学術集会.. 横浜

Ⅲ. 2018年度の運営体制

1. 2018年度のSMC運営体制

- ①湘南メディケア代表者会議
- ②湘南メディケア経営委員会
- ③湘南メディケア運営連絡会議
 - ・教育研究作業部会
 - ・業務改善作業部会
 - ・食の作業部会
- ④湘南メディケア安全管理委員会

2. 2018年度SMC職員人事（2018年4月現在）

職種別 総勢**83**名

医師	5名（常勤3名、非常勤2名）
保健師	1名
看護師	18名
作業療法士	3名（音楽療法士1名）
理学療法士	1名
介護福祉士/介護士	32名（音楽療法士1名）
介護支援専門員	5名
在宅支援コーディネーター	4名
事務	9名
調理員・運転手	5名

Ⅳ. 2018年度の基本方針

1. 行政・医師会・医療機関・関連事業所と協力し、新しい在宅医療と福祉の輪を広げます。
2. 危機管理・リスクマネジメントの充実を図ります。
 - ・SMC安全管理委員会の運用の上に、安全業務を確立します。
 - ・ヒヤリハット研修会を定期的を開催します。
3. 福利厚生事業を推進します。
 - ・職員の健康管理システムの一層の充実を図ります。
 - ・癒すものが癒される事業を実現します。

4. 教育研修を積極的に推進します。
 - ・メンバーシップ教育、「学習する組織」の研修を開催し、社会一事業所一個人が一体となった事業風土を確立します。
 - ・対人援助コミュニケーション/緩和ケアの研修を推進し、心に寄り添うことが出来るように人間力を高めます。
 - ・地域に開かれた合同研修会を定期的で開催し、事業所間の切磋琢磨を実践し、地域の発展に貢献します。
5. 学術研究活動を推進します。
 - ・学会等（救急関連学会、日本内科学会、日本プライマリケア連合学会、日本在宅医学会、在宅医療推進フォーラム、全国在宅療養診療所連絡会）への参加および研究発表を積極的に進めます。
 - ・著書、学術論文、医学雑誌等への誌上発表を積極的に行います。
 - ・在宅医療データベースを作成し、検証可能な在宅医療学の確立を目指します。
 - ・効率的で効果的な在宅医療の在り方を探求します。
6. 人事考課を強化し、公正な昇給・昇進・昇格制度を推進します。人材を育成し、努力するものが報われるシステムを作ります。
 - ・国家資格（医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士・介護福祉士、管理栄養士、介護支援専門員等）を取得するだけでなく、職場毎に必要とされる様々な専門職種（音楽療法士、医療福祉連携士、認知症ケア専門士、ELNEC-J等）の取得を目指します、
7. 地域医療・介護の連携を進め、多職種・多事業所のパートナーシップを高めます。
8. 地域住民に優しい相談センターを確立します。
9. 湘南メディケアグループ設立 10 周年記念を実現します。
 - ・設立 10 周年記念の著書（幻冬舎）を発刊します。
 - ・設立 10 周年記念講演会を開催します。
 - ・勤続 10 年の職員を表彰します。
 - ・湘南メディケアグループ設立記念日を制定します。
10. 10 周年記念プロジェクトを大胆に推進し、地域に貢献します。
 - ・来春を目途に新たなメディケアセンターを創設し、地域医療介護に貢献します。
11. 地域医療連携推進法人を設置します
 - ・複数の医療法人の間で地域医療連携推進法人を設置し、交流とパートナーシップを深めます。
12. SMC の事業を推進します。
 - ①湘南真田クリニック
 - ・常勤医 3 名、非常勤医 2 名の質の高い診療体制を進めます。
 - ・専門診療と総合診療の外来診療を進め、質の高い地域医療を提供します。

2018年度の総外来患者数：15,000件を目指します。

- ・機能強化型在宅療養支援診療所として在宅訪問診療を強化します。

2018年度の総訪問件数：6,000件を目指します。

- ・多職種協働と連携の先頭に立ちます。
- ・臨床研修医の教育指導を推進します。
- ・抄読会等の学習会、症例検討会。運営委員会を定期的を開催します。

②SMC訪問看護ステーションさなだ

- ・優れた職員を増員し、常勤換算10名以上の看護体制を目指します。
- ・看護業務の質の向上、介護スタッフの教育を推進します。
- ・質の高い訪問リハビリテーションを展開します。
- ・機能強化型の訪問看護ステーションを展望します。
- ・看護学生教育を推進します。
- ・複数の訪問看護ステーションの設立へ向けて準備します、

③SMCケアステーションさなだ

SMC定期巡回・随時対応型介護看護事業所ひらつか

- ・介護業務の質の向上、人材の育成、チームワークの向上を推進します。
- ・地域住民とともに地域介護を展開します。
- ・吸引等の処置拡大に対応します。
- ・複数の訪問介護ステーションの設立へ向けて準備します。

④SMC居宅介護支援事業所さなだ

- ・医療機関との連携強化および質の高いケアマネジメントにより、居宅介護支援事業を拡大します。
- ・複数の居宅介護支援事業所の設立へ向けて準備します、

⑤通所介護/通所リハビリテーション

- ・デイサービスごしき、湘南メディケアガーデンを安定的に運用します。
- ・生活リハビリテーションとして、近未来型の通所介護の在り方を探求します。
- ・機能回復の軸となるリハビリテーションセンターの設立を目指し、通所リハビリテーションの設立を準備します、

⑥メディカルホーム メディトピア真田の展開

- ・医療・介護・生活支援と一体となった尊厳ある暮らしを探究します。
- ・多職種・多事業所の協働と連携の強化を図ります、
- ・緩和ケアホームとして確立します。
- ・創意工夫を凝らし、様々な行事を実現していきます。

13) 安定した事務サービスを提供します。

- ・「おもてなし」対応を強化します。
- ・事務部門を効率的で効果的に運用します。